

美作国創生公募提案事業 事業成果報告書

- 1 事業名：「廃校大学」
～廃校利活用ノウハウを伝え、廃校利活用実践者を育成するスクーリング事業～
- 2 実施団体：（一社）地域支援機構サトビト
- 3 協働担当課： 岡山県美作県民局
地域政策部地域づくり推進課
- 4 事業概要

<事業の目的>

- ・初年度目標=全日程受講者3人、単日受講者7人×2クルの計20名
- ・廃校利活用課題をもつ行政・民間・地域住民からの利活用プレイヤーの育成
- ・参加者を通じて県下の廃校利活用課題へのコンサルティング・マッチングに事業計画立案及び、事業推進の支援
- ・受講者による廃校利活用事業の実績づくりを通じて、集客コンテンツの少ない過疎地域に於ける地域振興・まちづくりの基軸となる事業の育成

<事業の内容>

- ・UEDAVILLAGEを事例に、廃校利活用の課題と可能性について講義を中心とした教育オンライン配信による大人の学び場カリキュラムを提供。
- ・教育から共育へと学び舎としての新たな役割として、大人の生き方、働き方改革に通じるプレイヤー講義を配信。参加者の思考変容、行動変容に繋がるオンラインカリキュラムを提供していく。
- ・事業を通じて、参加者の廃校利活用への関心度を高めると共に、地域起業や地域複業への関心度を高め、地域経済、過疎化策の振興に資する大学カリキュラムの構築に努める。

<実施の内容>

- ・廃校大学の拠点である「UEDAVILLAGE」(上田地区)と同じような廃校利活用や、少子高齢化が進む地域で、地域経済の活性化を含めた地域づくりに取り組む再現性の高いプレイヤーによるオンライン講義をYOUTUBE配信しました。
- ・都市と地域、地域と地域を結ぶプレイヤー同士の交流を通じて、これからの過疎化地域の可能性について「複業」という視点で、人材交流と関係人口の拡大について、またこれからの働き方、生き方について、オンライン講義をYOUTUBE配信しました。

- ・オンラインプレーヤー講義を配信し、そのまとめとして、これまでの地域、これからの地域について、UEDAVILLAGE(廃校)に関わる人や地域の目線で、過去と未来についてディスカッション形式でオンライン配信をしました。
- ・計5回のオンライン配信による「廃校大学」を通じて、参加者に対して、次年度の廃校大学カリキュラムを案内・説明し、廃校利活用、廃校拠点でのビジネス廃校にあるコミュニティを通じた新たな学びの提案をご提案しました。
- ・これからの廃校大学1年間の取り組みを「フェイスブック」「ピーティックス」「YOUTUBE」「公式ホームページ」を立ち上げ、情報発信を実施しました。

<実施内容の詳細(各開催ごとの内容)>

①廃校大学 設立ミーティング (2020年8月20日)

地域支援機構サトビトメンバー及び、廃校大学オンライン配信チームを発足し廃校大学のオンライン配信に向けて協議をおこないました。

- ・配信コンテンツとして、Facebook、Youtube、Peatixを登録
- ・廃校大学公式ホームページを開設

②廃校大学 キックオフ配信 (2020年9月24日)

オンライン配信(UEDAVILLAGE 真庭市)による、廃校大学オリエンテーションを開催しました。廃校大学とは?をテーマに、キーワードに『夢を語るオトナを増やせ』を設け、「廃校大学はどうしてはじまったのか」「廃校大学では何を学べるのか」などこれから始まる廃校大学の概要を中心に配信。ゲストとして太田真庭市長と真庭市の現状、課題についてもトークを行いました。

- ・沼本吉生／芦田倍芳(学長、副学長)
- ・安川幸男(ファシリテーター)
- ・太田昇(真庭市長・スペシャルゲスト)

③廃校大学 プレーヤー講義第1回 (2020年10月5日)

オンライン配信(隼lab 鳥取県八頭町)による、廃校大学第1回目の講義を開催しました。

オンライン配信による、廃校大学の利活用事例として、【隼Labのキセキ】と題して、地元の仲間と共に旧隼小学校を公民連携によりリノベーションした、カフェやシェアオフィス、コワーキングスペースと、地域と経済を循環させる隼Labをご紹介します。町内の小学生から高齢者まで幅広く利用され、地域に愛される取り組みを事例として発表。廃校利活用での、苦労したこと、今後の展望など、リアルな現実と課題をお話いただきました。

- ・古田琢也(株式会社トリクミ代表取締役、株式会社シーセブンハヤブサ代表取締役)
- ・安川幸男(ファシリテーター)

④ 廃校大学 プレーヤー講義第2回 (2020年11月26日)

オンライン配信(広島県呉市)による、廃校大学第2回目の講義を開催しました。

オンライン配信として、少子高齢化、人口減少が進む島で起こっている

【地域を醸す】取り組み。

人口30名の離島三角島で「人、自然、微生物、すべての命が尊重され調和されている醸された世の中」を日本酒を通じ実現。

日本酒文化を次の時代へ引き継ぎ、そして世界も見据えて活動されているお話を伺いました。

- ・三宅紘一郎(ナオライ株式会社代表取締役)
- ・安川幸男(ファシリテーター)

⑤ 廃校大学 プレーヤー講義第3回 (2020年12月21日)

オンライン配信(WorkDesignLab 東京都、UEDAVILLAGE 真庭市)による、廃校大学第3回目の講義を開催しました。

オンライン配信として、都市部人材が地域と関わる副業・複業として、東京で複業活動をおこなっている「WorkDesignLab 石川さん」をお招きして、【副業→複業へ】をテーマに、「働き方をリデザインする」「チャレンジする大人を増やす」などをテーマに様々なイベントや勉強会を開催する取り組みの紹介。複業家としても活動されている石川貴志さんが考えるこれからの生き方や働き方などお話を伺いました。

- ・石川貴志(一社 WorkDesignLab 代表理事)
- ・安川幸男(ファシリテーター)

⑥ 廃校大学 プレーヤー講義第4回 (2021年1月23日)

オンライン配信(UEDAVILLAGE 真庭市)による、廃校大学4回目の講義を開催しました。【これまでとこれから】と題して、廃校利活用事例のUEDAVILLAGE立ち上げから現在に至るまでの経緯、オンライン配信の振り返りをイベント形式にて配信しました。廃校利活用の具体的な方法や建築上の課題、運営における課題などを共有。

また、現役の高校生たちにも参加してもらい、実際に活動している内容についてお話を伺いました。(生活拠点である鏡野町、真庭市余野の地域活性化や課題など共有)

最後に、次年度の廃校大学に向けてのカリキュラム予定や取り組みを配信し終了しました。

⑦ 廃校大学 総括ミーティング(2021年2月5日)

オンライン配信による廃校大学の1年間の取り組みを総括。次年度の廃校大学開催に向けて課題の共有と、コロナ禍による継続的なオンライン配信を実施する方向性で協議。本事業のオンライン配信に参加した方へ、継続した関係性を構築していくよう事業を育てていく方向性を見据えた。

<p>2020年9月24日 オリエンテーションの配信</p>	<p>2020年10月5日 廃校利活用プレーヤー講義の配信</p>
<p>2020年11月26日 限界集落地域プレーヤー講義の配信</p>	<p>2020年12月21日 複業プレーヤー講義の配信</p>
<p>2021年1月23日 真庭地域のプレーヤー講義の配信</p>	<p>写真 オンライン配信会場の様子</p>

6 事業実施による成果、効果、今後の課題

(1) 成果、効果

当初の予定としては、

【1クール】オープンキャンパス(計4回 6～9月)

講座形式(約2時間30分程度)

【2クール】スクーリング(計4回 12～3月)

宿泊形式(一泊二日)

と計画をしていたが、コロナ禍の影響により開催は困難と判断、オンライン配信という形式となった。

(成果)

第1回オンライン配信	283回視聴	当日参加者	32人
第2回オンライン配信	111回視聴	当日参加者	21人
第3回オンライン配信	191回視聴	当日参加者	20人
第4回オンライン配信	114回視聴	当日参加者	23人
第5回オンライン配信	178回視聴	当日参加者	25人

(効果)

当初の計画とは変わったがオンライン配信と、YOUTUBEでの配信アップを通じ、当日参加者以外に、一定数の視聴者が獲得できた。

廃校という多くの人々の身近な地域課題に対して、廃校を通じて地域課題に興味を持っていただいたり、自分の廃校の状況を知るきっかけ作りになったり、真庭地域での活動に興味をもっていただいたりと、多様な視点で参加していただけたと考えています。

地域プレーヤーの新しい働き方、生き方をオンラインで伝え、新たな学びのコンテンツとしての可能性を見出せたと考えています。

本事業による配信を通じて、今後期待できる効果としては

- ①オンライン配信型の廃校大学への入学(参加)を通じて、関係人口の広がりが期待できます
- ②UEDAVILLAGEの廃校利活用事例に興味をもっていただいた方について、今後廃校ツアーの実施など、実際に真庭に来訪いただく機会となりました
- ③地域プレーヤー講義を通じて、自身の働き方や地域との関わりに興味をもって頂いた方も多く、複業や週末移住などに通じる取り組みとなり、当団体としても、複業支援や地域起業支援の活動に繋げることが期待できます
- ④最終回の配信において、現役学生の参加もあり、学生たちも関われる廃校大学事業の構想が広がりました

(2) 今後の課題

全てYouTubeライブ配信だったが、配信準備については十分でなかったように思う。今後の配信については、事前に録画したものの編集しての配信で遜色ないと思われる

また、スクーリング(有料)集客に向けて、オンライン配信を有料にしたが、視

聴者数は伸びなかった。活動を幅広く知ってもらい、まずは興味を持ってもらうためにも今後のオンライン配信は無料を視野に入れておくことが望ましいと思われる。

7 県民局と協働した効果及び課題

＜協働で事業実施した効果、課題等を記入＞

地域を跨いで配信・発信を行なったことで美作圏域以外の幅広い視聴者・関係者に「廃校大学」の取り組みを伝えることができた。

コロナ禍の中で大幅に事業計画を変えざるを得ず、売上の的には大変苦しかったが、発信力に関しては当初計画よりも大幅に大きくなったと感じる。